



2012年2月9日

各位

Medicinova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
コード番号 : 4875 大証 Jasdaq
問合わせ先 : 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号 : 03-3519-5010
E-mail : info@medicinova.com

第18回アメリカ救急医療学会年次総会へのプレゼンテーション参加のお知らせ

2012年2月8日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ(MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO : 岩城裕一) は、米国サンディエゴのデル・コロラドホテルで行われる第18回アメリカ救急医療学会において、プレゼンテーションを行うことをお知らせします。本プレゼンテーションでは、当社のチーフ・メディカル・オフィサーである松田和子が、喘息及び COPD に起因する急性気管支れん縮症状（気管支が狭くなる症状）を呈する患者に対する現行の治療の実態について解説し、さらに当社が開発中である新規の治療薬候補 MN-221 がもたらす効果について発表を行います。口頭による本プレゼンテーションは2月9日（木）に行われます。

救急外来を訪れる喘息及び COPD 患者の急性気管支れん縮治療に対する当社のアプローチは、非常に高い選択性を有する β_2 アドレナリン作動薬 MN-221（ベドラドリン）であり、心臓血管への刺激が限定的であることがその特長です。MN-221 は静脈内投与で行われ、当社が今日までに行った前臨床及び臨床試験は、MN-221 が、救急外来において、標準的な薬物療法と併用して気管支拡張効果を目的に安全に使用できる可能性が高いことを示唆しています。現在標準療法として投与されている吸入型の β_2 アドレナリン作動薬では、このようなタイプの気管支れん縮治療に対する効果は限定的です。

当社は MN-221 について、現在、米国における多施設で安全性及び効果の評価を行う大規模フェーズ 2 臨床試験を実施中であり、その結果発表を3月下旬に予定しております。また、当社は、キッセイ薬品との臨床試験共同実施契約に基づく COPD 適応の開発の進行にも期待しています。

以上

【MN-221 とは】

MN-221 は、キッセイ薬品が創製した、高い選択性を有する β_2 アドレナリン・レセプター作動薬であり、当社は同社より日本を除く全世界における MN-221 の開発及び販売について独占的かつサブライセンス可能なライセンスを取得し、喘息の急性発作及び COPD を適応として開発を進めております。ライセンスにより取得したデータには、広範な前臨床試験データ及び臨床試験による安全性データが含まれており、生体内外における前臨床試験では、喘息の急性発作治療を目的とする他の β_2 アドレナリン・レセプター作動薬に比してより高い選択性が確認されております。MN-221 の β_1 アドレナリン・レセプター作動薬としての心臓に対する作用が限定的であることとともに、従来の選択性の低い β_2 アドレナリン・レセプター作動薬の問題点である心臓への刺激作用が低減される可能性があると考えられています。また、当社は、静注投与により MN-221 の開発をしておりますが、この投与方法の優れた点は、発作によって狭められた気道を経由せず、有効濃度の薬剤を経静脈的に速やかに肺に届けることができることです。当社は、数本のフェーズ 1、1b 及びフェーズ 2a の臨床試験を完了し、現在は、喘息の急性発作患者を対象に、フェーズ 2b 臨床試験を実施中です。また、安定期にある中等度から重度の COPD 患者を対象として、数日間薬剤を反復回投与する臨床試験を開始いたしました。喘息患者を対象とした全ての臨床試験において、MN-221 の投与を受けた患者に FEV₁ の改善が見られ、また、救急施設における喘息の急性発作患者を対象としたフェーズ 2a 臨床試験において、現在の標準療法に加えて投与したところ、入院率が 45%減少しました。

メディシノバについて

メディシノバ (Medicinova, Inc.) は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。当社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD (慢性閉塞性肺疾患)、多発性硬化症を始めとする神経疾患、神経因性疼痛、薬物依存、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁など、多様な疾患の治療を目的とする 6 つの臨床段階の化合物と、血栓症治療を目的とする 2 つの前臨床段階の化合物が揃っております。当社は、当面その戦略として、喘息急性発作及び COPD の治療薬 MN-221 と多発性硬化症及びその他の中枢神経系疾患治療薬 MN-166/AV411 との 2 つの優先的開発化合物に資源を集中して開発を進めていく予定です。MN-221 については、米国内で独自に開発を行い、一方 MN-166/AV411 については、開発に際して、戦略的な提携関係を構築することを考えております。また、他の製品候補につきましても、現金化を試みて参ります。当社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。当社の所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950 (電話 1-858-373-1500) です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能

性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性及び効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的及び製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発及び商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を始めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。